

## 関西大学独逸文学会 行事記録

(平成7年1月~12月)

○平成7年7月21日 平成7年度総会及び第81回研究発表会

### 総会議事

- 1) 会長挨拶……………丸山三友氏
- 2) 編集報告……………渡辺有而氏
- 3) 会計報告……………二宮まや氏

帰朝報告……………杉谷眞佐子氏

### 研究発表

1840年代の文学市場……………平井昌也氏  
——政治詩と検閲の対立—— (本学大学院生)

○平成7年12月20日 第82回研究発表会

会長挨拶……………丸山三友氏

### 研究発表

古高ドイツ語における „uuesan (sîn) +現在分詞“ の用法  
——Otfried の場合——……………金子哲太氏  
(本学大学院生)

### 講演

Die Ausländerproblematik in der Bundesrepublik  
Deutschland……………Joachim C. Hey 氏  
(ドイツ連邦共和国総領事館 文化担当アタシェー)

## 「独逸文学」41号執筆申し込み要領

### 1. 申し込み方法

執筆希望者は、平成8年7月の総会終了時まで文書で編集委員会に申し出ること。

### 2. 原稿について

i) 日本文の場合、論文は本文・注を合計し、400字詰横書原稿用紙**40枚**、別に500語程度のドイツ文のレジュメを添えること。書評・紹介は同上用紙**20枚**、レジュメは不要。ワープロ打ちの場合は横33字、縦31行で論文は16枚、書評・紹介は8枚とし、A4版の用紙を使用すること。

ii) ドイツ文の場合、本文・注を合計し、**5000語**（タイプ印書）程度、レジュメは不要。

いずれも**完全原稿**を平成8年9月10日までに、編集委員会に送付。その際、題目と氏名を日本文・ドイツ文で別紙に記したものを添えること。

執筆申し込み、論文要旨、原稿送付とも**締切り日厳守**のこと。なお、執筆申し込みの際、「独逸文学」執筆要領を請求の上、これに従って**完全原稿**を提出のこと。校正段階での訂正は誤植に限り、原稿の加筆・削除・修正は行わないこと。

掲載紙面の都合上、投稿原稿の採用の有無については編集委員会に一任のこと。

# 関西大学独逸文学会会則

(平成8年4月30日現在)

- 第1条 本学会は関西大学独逸文学会と称する
- 第2条 本学会は独逸文学・独逸語学の研究および普及をはかることを目的とする
- 第3条 本学会は前条の目的を達成するために次の事業を行う
1. 毎年1回総会を開く
  2. 毎年2回研究発表会を開く
  3. 毎年機関誌を発行する
  4. その他研究会、講演会などを行う
- 第4条 本学会は次の会員で組織する
1. 本学ドイツ文学科の教授・助教授・専任講師及び助手
  2. 本学の教授・助教授・講師および助手の有志者
  3. 本学ドイツ文学科学生・院生
  4. 本学学生・院生ならびに卒業生の有志者
  5. その他本学会の趣旨に賛同する者
- 第5条 本学会は会長1名・委員および幹事それぞれ若干名を置く
1. 委員は本学ドイツ文学科の教授・助教授および専任講師とする
  2. 会長は委員会が会員中から推薦する任期は2年とし重任を妨げない
  3. 幹事は本学ドイツ文学科の助手・および互選された学生・院生・卒業生の若干名に委員が委嘱する  
任期は1年とし留任を妨げない
- 第6条 機関誌の編集委員は本学会の委員の互選による若干名とする
- 第7条 会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする
- 第8条 会費は年額3,000円とする
- 第9条 本学会の事務所は本学文学部ドイツ文学科研究室に置く
- 第10条 会則の変更は委員会を経て総会の審議によって行う

## 執筆 者 紹 介 (掲載順)

- 手 嶋 竹 司 関西大学非常勤講師, 元・信州大学教授
- 志 田 章 関西大学非常勤講師
- 金 子 哲 太 関西大学大学院博士課程後期在学中
- 平 井 昌 也 関西大学大学院博士課程後期在学中
- 十 河 健 二 関西大学非常勤講師
- 羽根田 知 子 京都外国語大学非常勤講師
- プリスカ・アシュヴァンデン・野嶋  
関西大学非常勤講師
- 井 上 勉 徳島文理大学助教授
- 加 納 築 関西大学大学院博士課程前期在学中
- 畑 野 哲 也 関西大学大学院博士課程前期在学中
- 丸 山 千 絵 関西大学大学院博士課程前期在学中
- 村 上 嘉 希 関西大学大学院博士課程前期在学中